

杉並高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 現代社会 年間授業計画

教 科： 公民 科目：現代社会 単位数： 2 単位
対象学年組： 第3 学年 1 組～7 組）
教科担当者：（1 組：松原）（2 組：山里）（3 組：山里 ）（4 組：松原）（5 組：松原）（6 組：山里）（7 組：松原）
使用教科書：（ 『高等学校 改訂版 現代社会』第一学習社 ）
使用教材：（ 『現代社会ノート』第一学習社 ）

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	・時事問題 ・地球環境問題 ・資源、エネルギー問題 ・青年期に関する分野	・ウクライナ情勢と科目内容の関連を理解させる ・東日本大震災を通してエネルギー問題等を考察させる ・青年期の特徴と課題を理解させる。 ・知ること、学ぶことの意義を考察させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	7
5 月	・国際平和、地域紛争、領土問題、外交政策と日本の役割 ・哲学、思想、倫理	・地域紛争の具体例を概観し、平和構築への方途を探らせる。戦後の日ソ、日中、日韓の外交の特徴を理解させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
6 月	・経済主体と企業の活動 ・市場経済のしくみ ・経済成長と景気変動	・自由貿易と保護貿易の長所と短所を比較検討させる・リージョナリズムとナショナリズムの事例を概観させる ・資本主義と社会主義について理解させる ・株式会社の特徴について理解させる ・市場のしくみと限界について考えさせ理解させる ・経済指標、インフレ、デフレについて理解させる ・代表的な景気変動理論を概観させる ・財政のおもな機能と租税の意義を理解させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	5
7 月	・政府の経済的役割と租税 ・金融機関の働き ・戦後の日本経済	・民主政治の意義と課題を考えさせる ・おもな社会契約説のそれぞれの特徴を理解させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	8
8 月	・産業構造の変化	・金融機関の意義と機能を理解させる ・戦後日本経済を概観させ、未来の経済を見通させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	2
9 月	・雇用と労働問題 ・公害の防止と環境保全 ・消費者保護と契約	・金融機関の意義と機能を理解させる ・戦後日本経済を概観させ、未来の経済を見通させる ・日本の産業構造の変化の特徴と農業の現状と課題を理解させる ・働く際の注意事項を労働基準法を通して理解させる ・契約の権利と義務、消費トラブルの避け方について理解させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
1 0 月	・社会保障と国民福祉 ・国際経済のしくみと貿易・進む地域統合 ・国際経済の動向 ・国際協調と日本の役割	・経済のグローバル化の現状と課題を理解させる ・経済協力のあり方を微視的視点と巨視的視点の両面から考察させる。 ・イギリス、アメリカ、中国の政治体制を概観させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
1 1 月	・現代に生きる倫理 ・現代に生きる青年 ・民主政治における国家 ・基本的人権と法の支配 ・世界のおもな政治体制	・おもな社会契約説のそれぞれの特徴を理解させる ・イギリス、アメリカ、中国の政治体制を概観させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
1 2 月	・日本国憲法の原理	・大日本帝国憲法との比較で日本国憲法の特徴を理解させる ・国際法や国際連合の課題を考察し理解させる	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
1 月	入試問題演習	入試問題に挑戦させることにより、政治・経済の総まとめとする。	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
2 月	入試問題演習	入試問題に挑戦させることにより、政治・経済の総まとめとする。	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6
3 月	入試問題演習	入試問題に挑戦させることにより、政治・経済の総まとめとする。	評価の観点：学ぶ意志、問題意識、知識、理解、資料の読み取り、対策の考察、多角的視点、表現など	6